

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第48回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日 時 2022年7月14日 (火) 13:00~15:00

2. 場 所 Web会議による実施 (Webex)

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 河村 (主査)、室屋 (副主査)、宮澤 (幹事)、中野*、宇井、梅原、
大橋、河合、篠原、荘田、杉野、長瀬、端* (13名)

(常時参加者) 宮重、榎菌、梅木**、串本、出来島、市橋、湯浅、相沢、茅野、長嶺、
志水*** (10名)

(オブザーバ) 大津 (1名)

* 本分科会にて登録承認

** 三島常時参加者 (本分科会にて登録承認) の代理

*** 前田常時参加者の代理

4. 配付資料

- 【P11SC48-0】 第48回水化学管理分科会議事次第
- 【P11SC48-1】 第47回水化学管理分科会議事録(案)
- 【P11SC48-2】 人事について
- 【P11SC48-3-1】 加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 ほう素
- 【P11SC48-3-2】 同 コメント対応一覧
- 【P11SC48-3-3】 同 新旧比較表
- 【P11SC48-3-4】 同 新旧比較表 (旧標準との比較)
- 【P11SC48-3-5】 同 改定案の概要
- 【P11SC48-4-1】 加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 溶存水素
- 【P11SC48-4-2】 同 コメント対応一覧
- 【P11SC48-4-3】 同 新旧比較表
- 【P11SC48-4-4】 同 新旧比較表 (旧標準との比較)
- 【P11SC48-4-5】 同 改定案の概要
- 【P11SC48-5-1】 加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 放射性よう素
- 【P11SC48-5-2】 同 コメント対応一覧
- 【P11SC48-5-3】 同 新旧比較表
- 【P11SC48-5-4】 同 新旧比較表 (旧標準との比較)
- 【P11SC48-5-5】 同 改定案の概要

- 【P11SC48-6-1】 加圧水型原子炉一次冷却材の化学分析方法 ほう素同位体比
- 【P11SC48-6-2】 同 コメント対応一覧
- 【P11SC48-6-3】 同 新旧比較表
- 【P11SC48-6-4】 同 新規制定案の概要

5. 議事

(1) 本分科会の成立について

宮澤幹事より、委員総数15名に対し出席委員は13名であり、開催定数に達しているとの説明があった。

(2) 第47回水化学管理分科会議事録の確認

宮澤幹事より、【P11SC48-1】第47回水化学管理分科会議事録(案)について説明があり、コメントなく了承された。

(3) PWR分析標準 システム安全専門部会本報告向け資料審議

河村主査より、第47回水化学管理分科会にて審議・承認したPWR分析標準4本の修正版を標準委員会にて中間報告し、了承されたとの報告があった。

続いて、長嶺常時参加者より第59回システム安全専門部会、及び第65回水化学管理指針作業会にて出された、コメントに対する対応方針の説明があった。指摘事項及び確認事項は以下の通りであった。

- ・ 図について図とタイトルや注釈が別ページになっているものや、出典の記載に不自然な空白があるものが見られる。再度確認して修正すること。
- ・ 第59回システム安全専門部会にて、日本原子力学会2022年春の年会の企画セッションにて出された意見を反映するようコメントがあったが、出された意見はいずれも水化学管理指針に関するものであったため、分析標準に反映すべき事項がないことを確認した。
- ・ 転載許諾申請については分科会にて対応することとなっており、河村主査の名前で先方にレターを発送することとした。
- ・ 前書きの英文についてはネイティブチェックを実施中であることを確認した。
- ・ 分析標準の英語版の発行については、水化学管理指針の英語版の発行が順番的に優先であるとの判断から、諸外国の分析標準の整備状況を調査した上で英文化要否について今後検討する方針を確認した。また、本方針をパワーポイント資料に反映することとした。
- ・ 上記図の修正、ネイティブチェック及びパワーポイントの修正結果は、水化学管理指針作業会及び本分科会のメンバーにて、メールベースで確認することとした。

(4) BWR水化学管理標準の改定について

宮澤幹事よりBWR水化学管理標準の改定スケジュール及び今後の方針について説明があった。概要及び確認事項は以下の通りであった。

- ・ 本標準は5年ごとの改定が推奨されており、分析標準が2023年9月に制定後5年となるため、まずは標準の改定要否を検討するために作業会を再開する必要がある。
- ・ 作業会メンバーのうち主査、副主査及び幹事が既に退職されており、そのままのメンバーで再開することは難しい。
- ・ 再開に向け、新たなメンバー表を作成し（退任されるメンバーについては退任届を提出いただく）、作業会再開のための分科会を開催することとした。

(5) その他

【HWC技術レポート紹介】

予定していた紹介者が急遽欠席となったため、次回分科会に持ち越しとした。

【倫理教育に関する議論】

宮澤幹事により、委員の倫理教育受講完了が確認された。また、委員より教育受講後の感想が述べられた。

倫理教育について、分科会からシステム安全専門部会への報告のため、教育受講後の意見や感想をメールにて集約することとした。

以 上